



更 生 之

第26号

越谷地区更生保護女性会だより



こしがや能楽堂

ホッとする笑顔をこれからも

越谷市福祉部長 小田 大作



日頃より、明るい地域社会を目指し、更生保護の取り組みにご尽力をいただき、誠に有難うございます。

令和も4年目に入りましたが、年号に込められた願いに反し、荒んだ事件のニュースが後を絶ちません。背景には、様々な要因があると思いますが、暮らしの中では、誰もが不安に駆られたり、大きな問題にぶつかったりします。そんなとき、気持ちに寄り添い、温かく受け入れてくれる場所があれば、人はしっかりと生きていきます。そのような場所が増えれば、世の中は、もっともっと明るくなります。更生保護女性会の皆さんの笑顔には、そんな社会を明るくする力があると感じています。会えば、なぜかホッとする、自分に素直になれる、そんな存在です。

行政がどんなに制度を整備しても、地域の理解と共感がなければ、更生保護の取組みは前に進みません。事業の根っこの部分を担っているのが更生保護女性会です。皆さんが持つ、優しい空気を、ホッとする笑顔を、これからもたくさん地域に広めてください。

令和3年度総会

令和三年度総会は、五月十七日、中央市民会館劇場に於いてコロナ感染防止対策を徹底し、越谷市役所福祉総務課長藤波孝之様のご臨席を賜り、対面式で開催しました。

会員256名中217名(内委任状71名)の出席のもと、染谷会長を議長として令和二年度の事業報告及び決算報告・監査報告並びに令和三年度の事業計画及び収支予算案の5議案が、原案通り満場一致で承認



された。なお、令和二年度総会(書面議決)で選出・委嘱された新役員等につき紹介し、本年度も円滑な組織運営に努め更女活動等を実施するために、会員の皆様にご協力・ご支援を依頼。ご臨席の福祉総務課長藤浪孝之様よりお祝辞並びに越谷市社会福祉協議会長杉本昭彦様の祝メッセージを賜りました。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため全体研修会は中止としました。



関東地方 更生保護女性連盟 結成60周年 記念大会に参加して

平川 好子

令和3年12月1日(木)、さいたま市中央区新都心ホテル「アリアンテ武蔵野」において、関東地方更生保護委員会委員長感謝状贈呈及び関東地方更生保護女性連盟会長表彰状授与式が催されました。

コロナ禍の中なので、人数・時間など縮小、午前10時30分開式。式次第に沿って進行され、約35分程の式典でした。

ご来賓の方々の中で、日更女の千葉会長が「このコロナが私達人間に改めているいろいろなことを学ばせてくれた材料となったのではないかなと思う。」ということをご挨拶の中でおっしゃったことが印象に残りました。

そして、記念講演では「子どものSOSに気づくには」という演題で、講師は認定NPO法人スペースたまりは代表理事の西野博之さんでした。

お話が始まってすぐに、いじめが一番多く報告されている学年は小学校一年生から中学校三年生ま

での中でどの学年でしょうか?という質問の正解は小学校二年生です。という答えに会場がどよめきました。会場内での正解者はいませんでした。そこには、たくさんのあまりにもたくさんの方が子どもの身の上に覆い被さってくるので、それを払いのけられなくて子どもがもがき苦しみ、自信を失い孤立してしまうのだということでした。また、子どもは助けを言葉にして求めることができないので、それに気づける大人がいて欲しい。とにかく、安心できる居場所があることや、子どもの話を聴くという大人が身近にいてくれると感じられるようになって欲しいと思っているなどと熱く語られました。

これからの子ども達に対して、私達大人が、どう付き合っていくのか。いけるのかの課題を投げかけられた講演でした。

そしてまた、この度の受賞者を祝う集いが令和4年1月13日(木)同じく新都心の「ラフレさいたま」において開催されました。私にとりまして、このような場所に出席できる機会を頂きました事に深く感謝申し上げます。



第71回 社会を明るくする運動

毎年7月1日を更生保護の日と定め、7月中を「社会を明るくする運動強調月間」及び再犯防止啓発月間として、全国津々浦々で同運動を展開しております。

埼玉県下では、同期間中に、埼玉県更生保護女性連盟事業である「愛の募金」活動を45地区更生保護女性会が自治会の方々や地域の皆様始め商店主・保護司さん等のご協力を頂き実施しています。

コロナ下の令和三年度第71回では一、7月1日（木）、南越谷駅において、杜明推進委員長である市



長を中心に保護司・更女会員等で啓発グッズを配付しPRに努めました。

二、7月16日（金）、「音楽と講演のつどい」が開催され、①市消防音楽隊の演奏②法務省矯正管区更生支援企画課長より「令和時代の再犯防止・更生支援コロナ禍においても、誰一人取り残さない社会の実現を目指して」の講話

国・地方公共団体・民間団体の三者が連携し、再犯防止に取組み推進して、地域の力・支援のもとに犯罪や非行の無い明るい地域社会を築いていきましょうと語られた。

立直りを支える社会を！ 居場所と出番作り

安全・安心な地域を作るためには、罪を償い再出発しようとしている人たちを地域で支える更生保



護が重要です！

地域社会が一人一人の立直りの基盤となるとともに、一人ひとりの立直りのプロセスが地域社会を生成することになる・・・

祝成人（越谷地区在住）

本年度は、4名の男子保護観察対象者が成人式を迎えられました。担当の保護司さんを介してお財布にお祝いの言葉を添えてお贈りしました。

後日、少年のひとりから「社会の一員としての自覚を持って・・・を心に置きました・・・」と保護司宅より電話をいただきました。



令和三年度支部活動から

引続き新型コロナウイルス禍の中、全支部で「愛の募金」活動で地域の皆様・自治会関係者等のご協力をいただき実施できましたことに心よりお礼申し上げます。

大沢支部

令和3年9月より新大沢地区センターが東大沢に新たに開館し、同時に広い調理室を使った「子ども食堂沢っ子」が新しい団体として活動を始めました。

私達大沢支部も同センターの活動団体に加入し、早速、12月に子ども食堂にライフビズケット、支援金を贈

りました。コロナ禍の活動は、持ち帰り弁当としていますがビズケットを弁当に添える事で喜ばれました。



桜井支部

令和3年11月26日(金)、桜井

地区地域包括支援ネットワーク会議がコロナウイルス感染対策のマスク着用・消毒を徹底。三密を避け2回に分け「コロナ禍でもつながる地域活動を考えよう」のテーマで開催され、支部から参加しました。

初めに、越谷市社会福祉協議会松原主事より「地域福祉活動について」として①ふれあいサロン②ボランティア活動③支え合い会議の各地区の取組状況を報告され、次いで桜井自治会長よりコロナ禍でもつながる地域活動として自治会だよりを発行し孤独・孤立を無くすことを目標にしていると発表。続いて、桜井笑顔の会川村会長より高齢者の生活支援をする「有料ボランティア」につき発表された。

地域の人々が、笑顔のお助けマンとして、高齢者に心強い支えと安心の地域づくりをされておられることに感じ入りました。

大相模支部

昨年に続き新型コロナウイルス感染拡大防止の中、思うような活動が出来ませんでしたが、愛の募金活動は、地域の皆様のご協力により全会員で実施出来ました。

又、地区コミュニティ推進協議会事業のこいのぼりの飾りつけ(フェスティバルは中止)、ひまわりフェスティバル、じゃがいも掘り会、地区成人式等に参加しました。

特に、成人式では、中学校の恩師により作成された在学当時のDVDが流され、新成人の門出を祝福するにふさわしい心温まる素晴らしい式典でした。



増林支部

①本田自治会館における介護予防体操教室は、令和3年11月から健康維持とふれあいの場として再開。

②10月20日役員5名で障害者就業訓練施設「しらこぼと」内見学。広く明るい各部屋を館長に、ご案内頂く中、作業中の知人に遭遇し思わずグータッチ・・・。

③12月13日及び1月17日数名の有志が拠出し米・野菜・みかん・

缶詰・調味料等を子ども食堂(兼フードパントリー)ポラムの家に寄贈。弁当作り100食分と増えて多忙な中にも使命感で充実されたお顔の皆さんに感嘆!

④地域支え合い会議には、増林支部から7名参加(内、支え合い推進員3名)、目下、高齢者生活支援目標を検討中。

尚、コミ協事業の大根、ジャガイモの植え付け・収穫作業等が実施され、11月20日の収穫祭には幅広い年齢層の方々が参加され楽しいひとときとなりました。



荻島支部

支部の行事として、総会と愛の募金活動ができ、会員や皆さまのご協力ありがとうございました。

一・コミ協事業・環境部会に所属
①五年生の校外授業の田植えでは指導者として参加。田植えは子ども達と楽しい一時を過ごせましたが、稲刈りはコロナが拡大して

中止になり、生徒達は遠くから機械による稲刈りの見学となりました。

②「花いっぱい運動」では、草取りは、年四・五回。花植えは春から夏用と秋から冬用の二回実施されましたが、親子参加の花植えは中止。親子の共同作業がなく、本当に残念でした。

③成人式にも裏方として参加しましたが、感動的な式典でした。二：荻島地区地域支え合い会議に参加。移動スパーは、品数も多く、実物

を見ての買物が出来て楽しそうな様子に、高齢者支援の大切さを感じました。



大袋支部

令和元年1月から始まった新型コロナウイルス禍のため、これまでのような地域活動が全て中止となりましたが、3年度も愛の募金活動は役員が手分けしてお願いに

回り、目標に達して、ホッとし感謝しております。

社明のホゴちゃんぬり絵の依頼から、副支部長が20年近く、障害者施設・グループホームに週1回ボランティア活動をしていることを知り、感嘆するばかり……。支部として同施設にささやかですが支援金等を贈りました。

新方支部

永く続くコロナ禍の影響で自粛行動の日々。密を避け個々の生活に留意する中、新方支部では、コミ協委員として2名が参加しています。各事業が中止となる中、

- さつまいも・蕎麦等の農園事業
- 暮れのクリーン作戦

に参加しました。

「5月に、サツマイモ苗の植え付け・生育時の手入れ・つる返し・秋に収穫」の順序で、天候に恵まれ大きな芋を収穫することになるのですが、楽しみにしていた収穫祭もコロナの為中止となり皆で分けて頂きました。8月には蕎麦の種まき・手入れ。11月に刈り取り。懐かしい機械を使っての作業と粉挽。その後の蕎麦打ち体験と試食も中止となり、手作りの蕎麦味を

楽しめたかったのに残念でした。

②12月12日(日)地区のクリーン作戦に参加。自治会・各団体・グループ等。新方地区全域をエリアごとに清掃・ゴミの回収。公民館にて分別。皆の力で綺麗な町づくりに協力しました。

今年度より、支部としてベルマークの収集活動を始めました。



出羽支部

今年度もコロナ禍の中、実施されるか心配でしたが、人数を縮小しての夏休み工作教室をコミ協の中の伝承部会の行事として、令和3年7月24日(土)に実施されました。竹細工(水てっぽう)・ペットボトルかざぐるま・びんアート&アクリル毛糸でのタワシづくりです。参加した人数は少なかったものの、お父さん、お母さんと一緒に真剣に取り組んでいる子どもたちの姿を見て、たとえ縮小して

の行事でも実施出来たことに喜びを感じました。来年度も実施できることを願っています。

また、愛の募金活動では、地域の皆様にご協力いただき感謝申し上げます。



越ヶ谷支部

今年もコロナ禍で、ミニ集会も出来ず残念ながら会員等とお顔を合わせる事は出来ませんでした。愛の募金は自治会様の温かいご支援、ご協力を頂き感謝いたします。

市民まつりには「ありがとう101人の笑顔」プロジェクトに参加。

埼玉県東生保護女性連盟70周年記念の集いにも5人参加しました。

理事会も数回開き、越ヶ谷支部だよりを作成して会員の方々に活動をお知らせしました。

来年度は、越ヶ谷地区コミュニティ推進協議会に入会させていただき、地域の方々と「心ふれあいまちづくり」にご一緒に活動していきたいと思っております。



役員理事研修会

越谷市障害者就労訓練施設

しらこばと中澤康幸館長の講演
「共生社会に向けて」

荻島支部 平野美智子

令和3年11月15日役員理事36名
が出席し標記研修が開催されました。

当施設の機能は2つに分かれ、

- 一：相談支援センター業務として
- ①地域交流②就労訓練③生活相談
- 二：指定福祉サービス事業として
- 就労移行支援事業B型作業では、
ダルマの底付作業・菓子箱折り
(中村屋、ひよこ)、UDパッチ
型抜き。
農作業は季節の野菜栽培などを地
域の方々と一緒にしている。



○就労移行支援事業としては2年
以内に一般企業・特例小会社への
就労を目標に、清掃訓練や軽作業
など。企業の現場実習などに東京
まで通っている者もあり。

今後、共生社会に向けて、支え
支え合い、社会の一員として活動
することが出来ればと願う・・・。

例えば、子ども食堂に野菜を寄
付したり、独り住まいの高齢者な
どにパンの訪問販売などをして安
否確認などができるようにしてい
きたい等・・・とのお話。

同施設にはパン・ケーキ工房も
あり、製造・販売訓練として、レ
ジ打ちなどもされ、明るく挨拶を
してくれ、又、立派な大根を楽し
そうに販売していました。

障害者支援施設として、越谷市

内には、生活介護事業所、短期、
入所施設等分野別に多くの施設が
あるようです。

保護者や子ども達が一人で悩ま
ず、これら施設に相談して、その
支援を受け、未来に明るい希望を
もって欲しいです。

中堅会員研究協議会に参加して

「地方更生保護委員会委員のよも
やま話」〜仮釈放審査の窓から〜
土川 博子

11月18日さいたま共済会館で開
催された標記協議会に当会から染
谷会長他2名で参加。関東地方更
生保護委員会第2部長委員吉田千
枝子様(元さいたま保護観察所長)
より標記講話を頂きました。

一：38歳女。

懲役13年(殺人・死体損壊)

暴力的な父と母の許で生育。高校
卒業後、キャバクラ勤務。同様相
手からDVを受け、孤立化状態で
誰にも相談せず本事件を惹起。

刑期三分の一が経過し、仮釈放
審査開始可否の観察官面接では、
「殺すしかなかった。後悔はして
いない」と述。四年後、委員面接
では、「どんな理由があっても殺

すことは絶対やってはいけなかつ
た。自分には先があるが被害者に
はない。妻子がいたことを事件後
知った。将来美容師のボランティア
をしたい。」と述べた。

二：17歳少女。

15歳時少年院に入院・長期収容。
児童養護施設育ち・小学時から性
経験有。「私は妊娠しない」と真
犯行為を反復していた。

仮釈放審査を通して見えてくる事
○刑務所・少年院生活を通しても
たらされる変化。安住の場・初め
て信頼できる大人と出会い、内省
につながっていった。

○多くの人が関わり、包括的・継
続的に関わることの重要性・・・
相談相手、支援者の必要性を痛感。

○人は変わり得る！どこかの時点
で変わる可能性が有るのです！

○更生保護女性会は後方支援を。
地域のチカラが犯罪や非行を防ぐ。
日々やっていることが即保護観察
に役立たなくとも、困った人に対
して、地域には、生活保護制度や
多様な支援があることを教えてい
ただきたい。再犯防止の上からも
立ち直ろうとしている人を見守り・
寄り添っていただきたい・・・と私
たちにエールを送られた。



当更女会は、①ランタンにそれぞれの想いを書き、藤棚や市民会

館の様子をYouTubeで配信。

④“越谷市民まつりヒストリー”、未来へ届けと今までの市民まつりの様子を市役所1階に展示

③皆のSDGS（持続可能な開発目標を巨大なダルマアートに）市民プロジェクト”・段ボールランタン

②有難うプロジェクト

①藤だな“籠染め灯籠ランタンプロジェクト”、

越谷市民まつりについて

平田 妙子

第46回越谷市民祭りは、新型コロナウイルス感染禍の中で開催するにあたり、市民祭り実行委員会で企画し、いつもと違った形で、9月26日（日）～10月3日（日）に開催されました。



第47回は10月23日（日）開催予定。どんな内容か楽しみです。

館のロビーに展示された 一方
②ありがとう101歳の笑顔の写真に、コロナ禍で頑張っている人や日頃お世話になっている人に感謝のメッセージを書いて、市役所本庁舎付近（葛西用水ウッドデッキ横）に展示されました。



上記写真は、千住真理子氏の公式Instagramより引用

ことへ」のお礼の言葉とお祝辞を

第1部式典では、ご来賓を代表して大野元裕県知事より「更生保護女性会が立ち直りを支え安心安全な社会を築く一翼を担っている

これまでの先輩諸姉が、たゆまず築いてこられた歩みを振りかえり、更なる活動の充実を図ることを目的としたもので、全員が一体感に包まれました。

県連盟結成70周年 記念の集いに参加して

越ヶ谷支部 八木 秋子

令和4年3月11日、戸田市文化会館において標記つどいが開催され、越谷地区更女会から28名が参加しました。



いただきました。

第2部では、千住真理子氏の優雅なヴァイオリンコンサート（約90分）は、ピアノ丸山滋氏との共演で、黒人霊歌「アメイジング・グレイス」に始まりサラサーテ「ツイゴイネルワイゼン」まで11曲に、アンコールにも応えて下さる。2歳半から母娘で始まったヴァイオリン人生にも触れた真摯なトークを交えて、その心の奥深く届く音色に会場全体の空気が、静まり返り、参加者全員が華麗で優美な時間を堪能しながらも、東日本大震災11年目であることに、心からの祈りを捧げた時間でありました。

【顕彰については、第68回埼玉県更生保護大会に於いて執り行われました】



第68回埼玉県更生保護大会

11月25日さいたま市文化センターに於いて、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、昨年同様参加者の規模を縮小（表彰者150名関係機関・団体代表者10名）して開催され、代表として染谷会長が出席。○令和4年1月24日（月）越谷市中央市民会館において、同顕彰伝達のごとくを開催しました。

おめでとーございます

- ・ 関東地方更生保護女性連盟会長表彰（敬称略）
平川 好子（出羽）
- ・ さいたま保護観察所長感謝状（7名）
八木 秋子（越ヶ谷）、小坂橋春枝（大沢）、川島佐代美（大袋）、飯塚 禮子（増林）、鈴木 陽子（大相模）、松澤いさ子・坂巻しげ子（荻島）
- ・ 埼玉県更生保護女性連盟会長表彰（12名）
中山 弘子・会田 和子（越ヶ谷）、熊谷美重子（大沢）、門口 芽子（桜井）、神田 勝枝（新方）、萩原 和子（出羽）、島田 玲子・瀧田 禮子（増林）、小澤 栄子・谷塚 清美（大相模）、松田由貴子・平野 久子（荻島）
- ・ 地域安全功労者感謝状（5名）
北川 セキ（新方）、土川 博子（増林）、山崎 要枝（大相模）、名倉登志子（出羽）、平野美智子（荻島）

感謝状は、越谷市地域安全推進大会が中止となったため、令和3年10月中に各地区センターにおいて交付された。

令和3年度 愛の募金報告

募金総額	1,183,930円
内訳	
○ 県連盟納入金	295,000円
○ 地区活動費	770,930円
○ 支部活動費	118,000円

各自治会、企業、保護司、会員及びご協力をいただいた皆様方へ厚くお礼を申し上げます。

ありがとうございました。

令和4年度行事予定

- 一、第1回役員理事会
4月19日（火）中央市民会館
- 二、総会・全体研修
5月16日（月）
- 三、社明駅頭広報活動
7月1日（金）
- 四、社明大会
「音楽と講演のつどい」
- 五、矯正施設訪問
9月
- 六、東ブロック研修会
9月15日（木）中央市民会館
- 七、第47回市民まつり
10月23日（日）
- 九、第69回埼玉県更生保護大会
11月25日（金）
戸田市文化会館
- 十、新年会
令和5年1月

編集後記

コロナ禍がつづき活動ができな
いなか、それぞれの支部活動が改
めて大きな記事で掲載する事がで
きました。身近な話題ですが今後
も活動をつづける事が大切と思い
ました。
（小林）